

鹿行教育事務所だより 第9号

令和6年1月15日(月)



電話 0291-33-6134

FAX 0291-33-2447

E-mail rokyo@pref.ibaraki.lg.jp

QRコードから鹿行教育事務所のホームページが見られます。



令和5年度学力向上推進プロジェクト事業 学びのイノベーション推進プロジェクト実証研究校

【小学校・算数】 行方市立麻生東小学校

研究主題を「自ら課題を解決できる児童の育成 ～評価からの授業改善を通して～」と設定し、研究を進めてきました。10月26日(木)には2年生と3年生、6年生の授業を公開しました。単元のまとまりを意識して学べる授業デザインのもと、筋道を立てて考えて数学的に表現することができる児童の育成を目指し、「なぜ、三角形といえるのか。」「共通な方法はどこか。」といった比較検討の場面における「妥当性の検討」「関連性の検討」を意識した授業が実践されました。



行方市立麻生東小学校

【中学校・英語】 神栖市立神栖第三中学校

研究主題を「自信をもって自分の考えや気持ちを発信できる生徒の育成 ※スタディ・ログの活用を通して～」と設定し、研究を進めてきました。12月15日(金)には2年生と3年生の授業を公開しました。一人一台端末を活用した言語活動の充実による表現力の育成や、ロイロノートを用いたスタディ・ログによる振り返りの充実を図りました。(※スタディー・ログ=児童生徒の学びの記録)

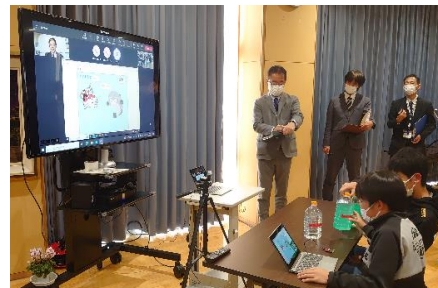


神栖市立神栖第三中学校

両校共に、文部科学省の調査官をお招きして、参集型及びオンラインでの授業公開を実施しました。授業反省を踏まえ、第3回目の授業研究も進めていきます。

小中学校における遠隔教育実証研究事業 ピンポイント型プログラミング 【高度な専門性をもつ人材による遠隔授業】

今年度、鹿行管内では、行方市の2校の小学校で「小中学校における遠隔教育実証研究事業」に取り組みました。第6学年総合的な学習の時間「郷土と社会を切り拓く課題解決型学習プログラム」の実践では、地域によさや課題、改善策を児童が主体的に考え、プログラミングを通して表現し合う探究的な学びを推進し、積極的に社会に参画しようとする態度を養いました。児童は、プログラミングをより身近に感じる事ができ、意欲をもって活動に取り組むことができました。



オンラインで専門人材の個別指導を受ける様子

【配信地】 専門人材
静岡大学 伊藤 友孝 先生
ロボット工学が専門分野

【受信校】
第1クール 行方市立麻生小学校
第2クール 行方市立北浦小学校

中学生の英語発信力向上事業に係る授業力アップサポート訪問

本事業は、グローバル化に対応できる人材育成を推進するため、学習指導要領が求める目標と指導と評価の一体化を図る授業づくりを通して、外国語教育の充実を図る目的で行われています。

今年度は、潮来市立牛堀中学校、銚田市立銚田北中学校、銚田市立銚田南中学校の3校を対象に、年間3回の訪問で校内研修や授業公開、研究協議等を行いました。どの学校においても、単元終末の言語活動に向けて、熱心に活動に取り組む様子が見られました。



潮来市立牛堀中学校



銚田市立銚田北中学校



銚田市立銚田南中学校

【授業の様子】